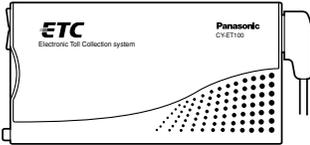


Panasonic

ETC 車載器
Electronic Toll Collection System

取付説明書

品番 CY-ET100D



お願い

- 本機の取り付け、配線には専門の技術と経験が必要です。
安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

安全に正しくお使いいただくために

ご使用前にこの取付説明書と別冊の取扱説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。
そのあと大切に保管し、必要なときにお読みください。

ETC は財団法人道路システム高度化推進機構の登録商標です。



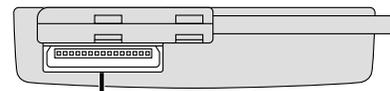
部品表

ETC 車載器は下記の部品で構成されています。取り付ける前に部品を確認してください。

番号	品名	個数	備考
①	本体ユニット+アンテナユニット	1	
②	取付ブラケット (A)	1	
③	取付ブラケット (B)	1	
④	角度調整台座	1	
⑤	線材固定テープ	1	線材処理に、適宜カットして使用
⑥	両面テープ (本体取付用)	1	
⑦	両面テープ (アンテナ取付用)	2	
⑧	コードクランパー	3	線材処理に適宜使用
⑨	束線バンド	5	線材処理に適宜使用
⑩	皿小ネジ (M3 × 5)	4	
⑪	バインド小ネジ (M3 × 5)	1	
⑫	トラスタッピンネジ (φ 4 × 8)	4	

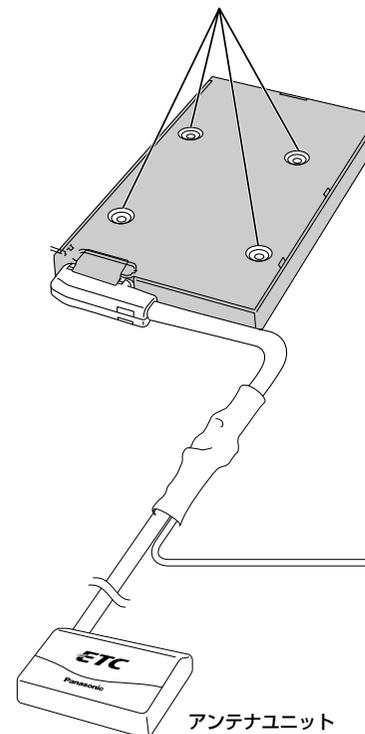
各部の名前とはたらき

本体ユニット後面

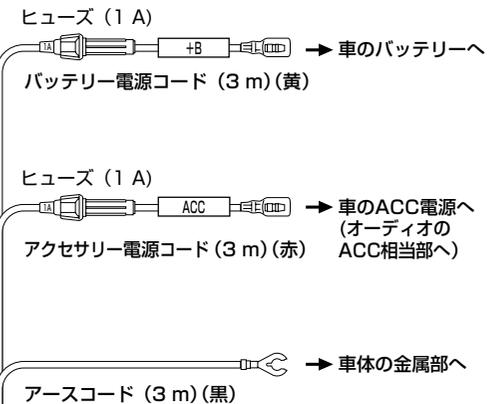


カーナビゲーション接続端子
別売のカーナビゲーションと接続するときに使用します。
(取扱説明書 18 ページ)

M3 タップ穴 (4ヶ所)



電源コードを接続する



安全に正しくお使いいただくために

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

運転者は走行中に操作をしない



禁止

走行中に操作をすると、前方不注意となり交通事故の原因になります。操作は安全な場所に停車して行ってください。

実際の交通規制に従って運転する



ETCご利用時でも、不測の事態（事故や異常気象）においては実際の交通規制に従って運転してください。交通事故の原因になります。

料金所通行時は、必ず以下のことをお守りください



制御棒が開いた状態であることを確認し、十分な車間距離と安全な速度で通行してください。

注意

分解や改造はしない



分解禁止

車載器の本体ユニット、アンテナユニットを分解したり改造すると、発煙、発火の原因になります。また、内部の改造は、法律で禁じられています。

挿入口に手・指や異物を入れない



禁止

ETCカードの挿入口に手・指や異物を入れるとけがや故障の原因になります。

ラベルを剥がさない



禁止

車載器の本体ユニットにあるラベルを剥がすと認証機器として認められません。剥がれたものは使用しないでください。

取り付け、配線は専門技術者に依頼する



車載器の取り付け、配線には専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店に依頼してください。

故障や異常のまま使用しない



禁止

音が出ない、煙が出る、変な匂いがするなどの異常な状態で使用すると発火の原因になります。直ちに使用を中止してお買い上げの販売店にご相談ください。

ヒューズの交換は、専門技術者に依頼する



規定以外のヒューズを使用すると、発煙、発火の原因になります。ヒューズの交換は、お買い上げの販売店に依頼してください。

落下ないようにしっかり取り付ける。



ねじがゆるんでいたり、取り付け部の接着が弱いと、走行中に落下して、運転に支障をきたし、事故やけがの原因になります。時々点検してください。

取り付ける前に

取り付けのとき

- 直射日光が当たる場所、ヒーターの熱風が直接当たる場所など、温度が極端に高くなる場所へ本体ユニットを取り付けしないでください。
- 本体ユニット、アンテナユニットは必ず車室内に取り付けてください。
- アンテナユニットを取り付ける場所は、運転に支障をきたす場所、同乗者に危険をおよぼす場所は避けてください。
- 部品を両面テープで貼り付けるときは、貼付面の汚れ、油脂分、ワックス、湿気はきれいにふき取ってから貼り付けてください。
- 車体に穴をあけるときは、下にあるパイプ類や配線などに穴をあけないように、よく確認してから穴をあけてください。
- 車体のボルトやナットを使用して取付用部品と共締めするときは、ハンドル、ブレーキ系統およびエアバッグ系統のものは絶対に使用しないでください。
- 本器の取り付け場所は運転上必要な視野を確保できる（支障のない）場所に取り付けてください。（ハンドルの中心から左右 200 mm以内には取り付けしないでください。）

配線のとき

- 本器は DC12/24 V車ともに使用でき、マイナスアース専用です。
- 配線作業中はショート、事故防止のため、バッテリーのマイナス端子をはずしておいてください。
- 車体や、ねじ部分に配線をはさみ込まないように注意してください。
- 車体のボルトやナットを使用してアースを取るときは、ハンドル、ブレーキ系統およびエアバッグ系統のものは絶対に使用しないでください。
- アンテナコードや各リード線は、かみ込みがないように確認してください。
- リード線が余ってぶらついたり、また、張りすぎたりしないように、車両のリード線とまとめて線材固定テープで固定してください。（振動などにより、鉄板のエッジ部や溶接のバリなどとの干渉によるリード線の損傷を防ぐため）
- リード線が余ってぶら下がってしまう場合は、束線バンド等で結束し、絶対にぶら下がらないようにしてください。（足などに引っ掛けてコネクターのはずれ、内部断線などのリード線の損傷が起こったり、正しい運転操作ができなくなり、事故に発展する恐れがあるため）
- 鉄板のエッジ部、バリやタッピングネジのエッジ、ボルトの頭部などの近くに配線しないでください。（振動などにより、リード線が損傷する恐れがあります。）
- リード線は、強く引っ張らないでください。（連結部のはずれや損傷、内部断線などリード線の損傷の原因となります。）

本体ユニットを取り付ける

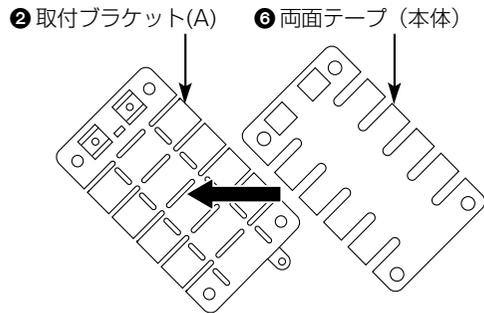
⚠ 注意

落下しないようにしっかり取り付ける。

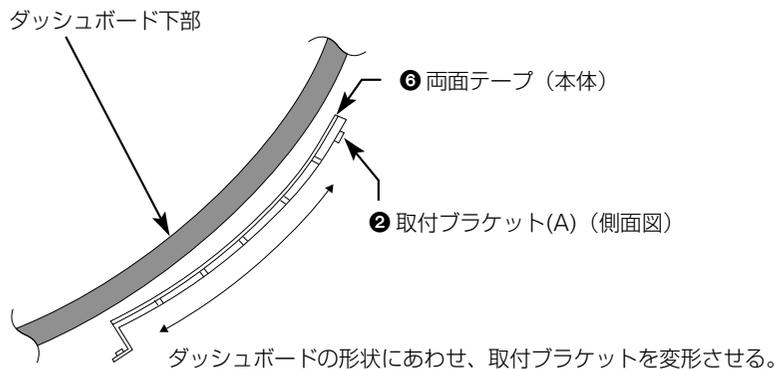


ねじがゆるんでいたたり、取り付け部の接着が弱いと、走行中に落下して、運転に支障をきたし、事故やけがの原因になります。時々点検してください。

1 取付ブラケット (A) に両面テープ (本体) を貼り付ける。



2 取付ブラケット(A)をダッシュボードへ押し付けて、形状をダッシュボードにあわせて変形させる。

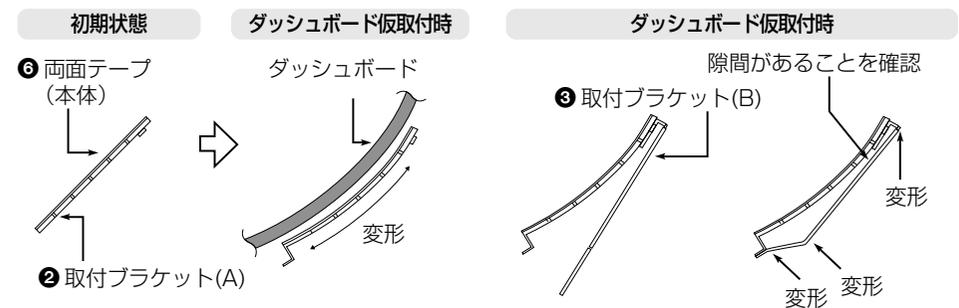
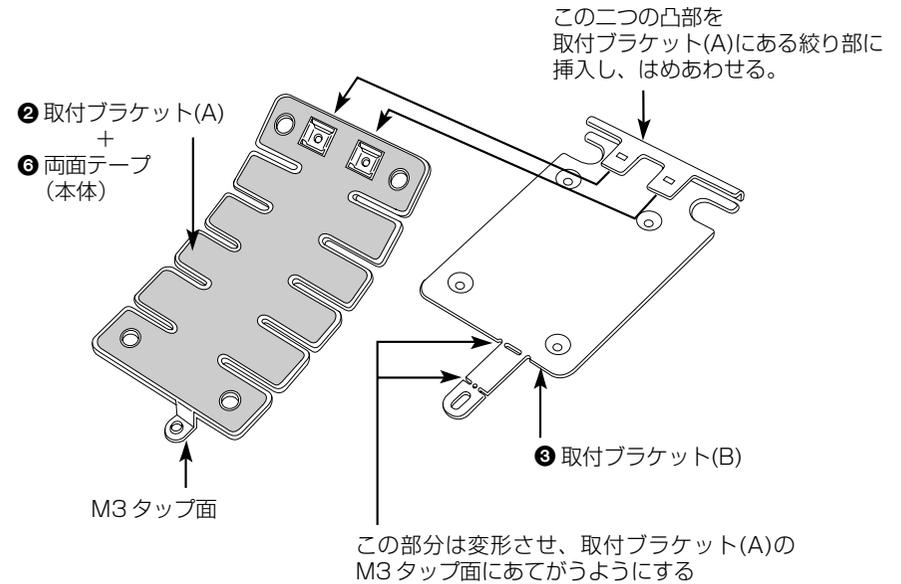


- ダッシュボード下側の、運転中に足の当たりにくい部分に取り付けます。後でタッピンネジで固定するので、ダッシュボード裏にハーネスやブラケットなどが無いことを確認してください。
- ダッシュボードの取付曲面にならぬ、取付ブラケット(A)を変形させていきます。

3 取付ブラケット (A) をダッシュボードの形状に合わせた後、取付ブラケット (B) との仮取付をする。

本体取付推奨位置：センターコンソールの横、ダッシュボードの下など

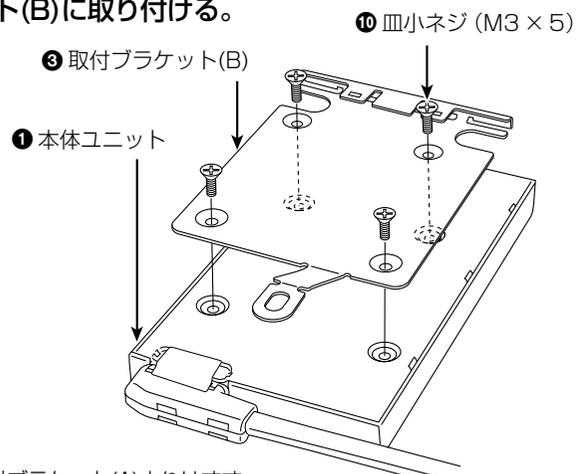
- ダッシュボードの上側には、絶対に取り付けしないでください。



お願い

- 取付ブラケット(A)と(B)の中央部での隙間を確保してください。当たっている場合は走行中に異音を発生する可能性があります。

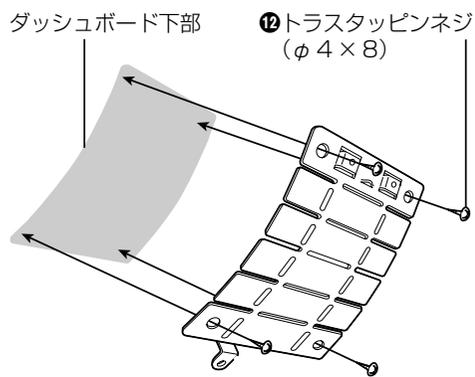
4 本体ユニットを取付ブラケット(B)に取り付ける。



- 変形させた取付ブラケット(B)を取付ブラケット(A)よりはまず。
- はずした取付ブラケット(B)を、本体ユニットへ皿小ネジ4本を使用して固定します。

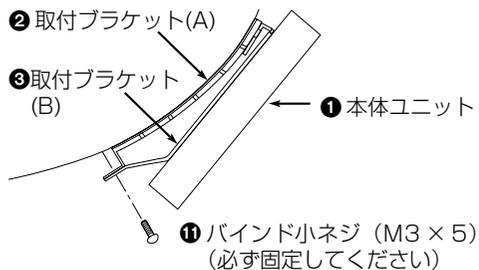
5 取付ブラケット(A)をダッシュボードに取り付ける。

- 手順2でダッシュボードの形状に合わせた取付ブラケット(A)を、手順1で接着した両面テープの剥離紙をはがし、ダッシュボード下へ取り付けます。
- トラスタッピンネジで固定します。



6 ダッシュボードに本体ユニットを取り付ける。

- 手順4で取り付けした取付ブラケット(B)の凸部を、取付ブラケット(A)の絞り部に挿入し、はめあわせる。
- バインド小ネジで固定します。



7 線材を配線する。

- コードクランパーや束線バンドを使用して、ダッシュボード下側へ見えないように配線します。余った線材は、線材固定テープや束線バンドなどで車向に固定してください。

取り付け後の確認

正しく配線が行われているか確認するため、セットアップの後、以下の手順で「取付チェック」を行ってください。

1 +B、ACC、GNDの配線および接続を確認した後、イグニッションスイッチをACCまたはON位置にする。

<確認事項>

UP ボタンを押して、一度押すごとに音量が一段階上がることを確認してください。

押すごとに

レベル1 → レベル2 → レベル3 → レベル4
(音量最小) (音量最大)

音量は、適当なレベルに調整してください。

参考：

(イグニッションスイッチがACCまたはON位置ではETCカード挿入口奥の緑LEDが常時点灯しています。)

2 手順1の状態のまま、ETCカードを正しい方向に挿入する。

(本体ユニット操作面のUPとRPTボタンがある方にETCカードのコンタクト面を向けて挿入)

参考：

ETCカードがお手元がない場合は、通常のクレジットカードなどを挿入してもチェックできます。

<確認事項>

ETCカード挿入直後に緑のLED：STDBYが1回～数回点滅します。

点滅が終了したら、「ETCが利用可能です」と音声案内します。

(ETCカード以外のカードが入っている場合は、「カードを確認してください」と音声案内します。)

3 RPT ボタンを押す。

<確認事項>

「ETCが利用可能です」と再度音声案内します。

(ETCカード以外のカードが入っている場合は、「カードを確認してください」と再度音声案内します。)

4 イグニッションスイッチをOFFにする。

<確認事項>

ERRインジケータ（赤LED）が点滅しながら、「カードが残っています」と音声案内した後、

ETC車載器の電源が切れます。(ETCカード挿入口奥の緑LEDが消灯します。)

5 ETCカード取出しボタンを押し、ETCカードを抜く。

以上で確認完了です。

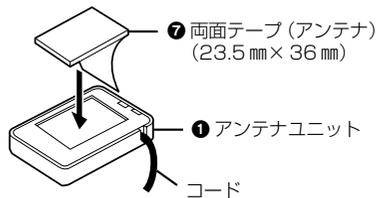
お願い

- 取り付けと配線が終わったら、ブレーキ、ライト、ホーン、ウィンカーなどのすべての電装品が、正常に動作することをご確認ください。
- ETCカードは精密なICチップを搭載しています。故障の原因となりますので、曲げたりコンタクト面を汚したりしないでください。

アンテナユニットを取り付ける

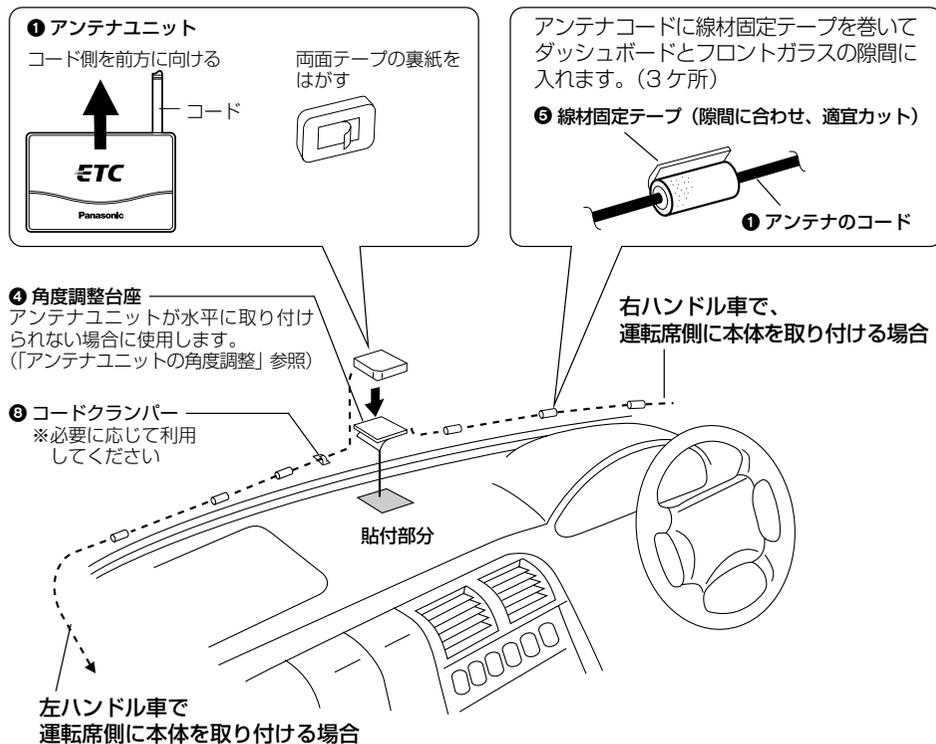
1 アンテナユニットの底に両面テープを貼り付ける。

底面の凸部に合わせて貼り付けます。



2 両面テープの裏紙をはがしてアンテナユニットをダッシュボード上に貼り付け、アンテナケーブルを配線する。

- フロントガラス中央部付近に、コード側を車両前方に向けて、角度が水平になるように取り付けます。
- アンテナコードをダッシュボードとフロントガラスの隙間に入れ込みます。
- アンテナコードは右座席側に本体ユニットを取り付ける場合は、右側へ引き回します。左座席側の場合は左側へ引き回します。



お願い

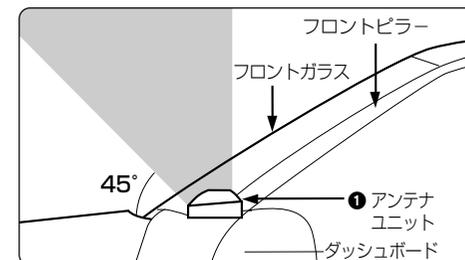
- アンテナコードは確実にダッシュボードとフロントガラスの隙間に入れてください。コードが露出し、切断などが行われた場合、ETCシステムが使えなくなります。

お願い

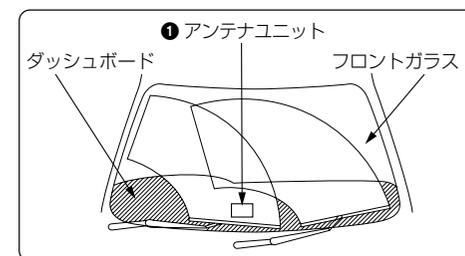
- 各種電子機器に近すぎると、性能に影響を与える場合がありますので、下記の例を参考に、各機器からなるべく離れた位置に取り付けてください。
例 ・ GPS、VICS など、他のアンテナからは 10 cm 以上離して取り付けてください。
・ ディスプレイユニットからは 20 cm 以上離して取り付けてください。
・ レーダー探知機は、特に影響を受けやすいため、異常探知とならない場所に取り付けてください。
- メーカー純正のカーナビゲーションを搭載した車は、ダッシュボード内に GPS アンテナが埋め込まれている場合があります。その時は、GPS アンテナの真上を避けてアンテナを取り付けてください。また、取り付け後も GPS の受信感度が悪化していないことを確認してください。
- アンテナユニットを取り付けるダッシュボード面の湿気、ゴミ、油などをよく拭き取ってください。
- 気温が低いときは、両面テープの粘着面とダッシュボードの貼付面をドライヤーなどで温めてから貼り付けてください。

お願い

- 側面から見てアンテナユニットがフロントビラーの陰に入らない位置に取り付けてください。
- アンテナユニットの上側 45° よりも上の位置 (右図中の 部) に障害物がないように取り付けてください。
(ただし、動いているワイパーがこの位置を通過するのは問題ありません。)



- 上から見て、ワイパーの拭き取り範囲内に取り付けてください。



- アンテナユニットは必ず車室内に取り付けてください。
- 電波不透過ガラス装着車両および赤外線反射ガラス装着車両では、電波が受信できないことがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。
- 運転席から前方視界の妨げにならないことを十分確認の上取り付け位置を決めてください。

⚠ 注意

エアバッグ動作の妨げになる場所に取り付けない。

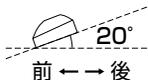


禁止

助手席にエアバッグシステムを装備している車に取り付ける場合は、エアバッグシステムの動作の妨げになる場所に取り付けしないでください。

アンテナユニットの角度調整

アンテナユニットは、できるだけ水平に取り付けてください。
また、下記のような傾きでは取り付けないでください。



車両前方に向かって
20°以上傾けないで
ください。

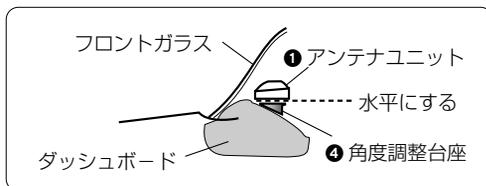
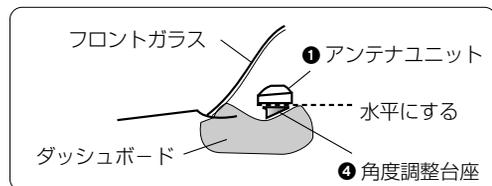


車両後方に向かって
傾けないでください。

アンテナユニットを水平に取り付けたいが、ダッシュボード面との間が20°^{※1}以上傾くときは

- 1 アンテナユニットの底に両面テープを貼り付ける。
- 2 アンテナユニットの両面テープの裏紙をはがして、角度調整台座を取り付ける
- 3 角度調整台座の底に両面テープを貼り付ける。
- 4 角度調整台座の両面テープの裏紙をはがして、ダッシュボードに取り付ける。

●角度調整台座は、ダッシュボードの傾きに応じて前後どちらでも調整できます。



※1 同梱の角度調整台座が20°ですので、これを目安にしてください。